

# 調達先との関わり

関連するSDGs



企業に求められる社会的責任を果たすためにはサプライチェーン全体で技術や製品・サービスに対する方向性や認識を共有し、一丸となって取り組むことが不可欠です。調達先と常に公平・公正な関係を保ち、ともに成長・発展できるよきパートナーとして信頼関係の構築・強化に努めていきます。

## 大林グループCSR調達方針の遵守

当社は2020年11月に株式会社大林組が改訂した大林グループCSR調達方針に基づき、事業に関係する全てのサプライチェーンでCSRの取り組みを推進します。

### CSR調達活動の基本方針

- ① 法令の遵守
- ② 企業倫理の確立
- ③ 人権の尊重
- ④ 安全衛生の確保
- ⑤ 環境への配慮
- ⑥ 品質の確保
- ⑦ 災害時リスク管理体制の構築
- ⑧ 情報セキュリティの確保
- ⑨ 社会貢献

### ● 協力会社との良好な関係

当社にとって大切なパートナーである協力会社に対し、工務部・機械部が主導するICT施工などの技術講習を実施しています。2020年11月からは「優良職長」制度を新設しました。品質・安全の確保に対し、特に高いスキルを持つと判断された従業員がいる協力会社に対して、手当としてインセンティブを付与することで全体の意欲や技術向上を図ります。

### ● 協力会社への社長表彰

毎年、各支店では業績に貢献があった協力会社への表彰を行っています。特に多大な貢献があった協力会社には、社長表彰をしています。2019年度は有限会社高山組(神奈川県)、株式会社新和エクステリア(福島県)、株式会社統栄土木(兵庫県)、日伸建設工業株式会社(大分県)の4社の代表者に当社社長が謝辞を述べ、感謝状と記念品を贈呈しました。当社はこれからも協力会社の皆様とともに社会基盤の整備に寄与していきます。

社長表彰

## VOICE 評価への感謝をさらなる関係性向上に

道路整備工事をはじめ、宅地造成や大型施設の外構工事など、多岐にわたる土木工事分野で30年以上にわたり、大林道路一筋で日々コツコツとまじめに仕事に取り組んできました。当たり前のことではありますが、安全第一に作業を進める中で工期を確実に守り、高い技術力とニーズへの対応力を持って施工品質の向上に努めてきた点を高く評価していただいたことを大変光栄に思います。今後も大林道路、そして関係者の皆様のご指導をいただきながら、従業員が一丸となってさらなる施工品質の向上に取り組み、信頼されるパートナーであり続けたいと思います。

有限会社高山組 代表取締役社長 高山 正司 様



# 地域社会との関わり

関連するSDGs



重要な社会インフラである道路とそれを利用する人々の安全・安心・快適性を守ることが私たちの使命です。企業理念に基づき、経営資源を最大限に活かして事業活動を展開するのはもちろん、良き企業市民として、事業を超えた活動を通して地域の人々と積極的に交流を図り、社会と文化の発展に寄与していきます。

### ● 安全・安心な道路整備を支える「ミチテラ®」

当社が共同開発した路面点滅誘導灯「ミチテラ®」は、道路舗装工事の交通規制において活躍します。誘導速度に合わせて光の流れを作り、ドライバーに速度を知覚させ、一定の速度に誘導する働きがあります。また、路面に10メートル間隔で設置することで視認性を向上させています。高速道路のリニューアル工事が増加傾向にある中で、ドライバーに安心を与え渋滞緩和に寄与するとともに、現場で働く人々の安全を守ります。



点滅で速度感覚を調整し、渋滞を緩和するミチテラ®

### ● 建設業界の未来を見据えた産学連携のキャリア教育

産学連携による実践型施工体験学習の一環として、2019年6月から2020年2月まで岡山県立岡山工業高校で施工指導を行いました。

同校では県の指定を受け、建設副産物の有効利用や環境負荷低減材料の開発に取り組んでいます。

校内でのCO<sub>2</sub>排出量削減が期待される新型低炭素舗装「e-Con」の施工や再生資源の有効活用について理解を深め、建設産業の未来を担う土木科の生徒に環境に配慮した最新技術の施工体験をサポートしました。



校内での施工指導の様子

### ● ノウハウを活かした「無電柱化」で安全・安心を実現

当社は愛知県一宮市の国道22号線において、設計・施工・維持管理が一体となった電線共同溝整備PFI®事業に取り組んでいます。

自然災害などで電柱が倒壊した場合、ライフラインが寸断されるだけでなく、火災や感電などの二次災害の原因および緊急車両の通行の妨げになります。こうしたことから、国は「安全で快適な歩行空間の確保」「都市景観の向上」「都市災害の防止」「情報通信ネットワークの信頼性向上」などを目的として、2017年度から無電柱化事業のためのPFI事業を積極的に取り入れています。

当社は行政と連携し、長年にわたり培ってきた道路整備技術やノウハウを活かした電線の地中化工事を進めることで災害に強い強靱なインフラを実現し、地域の皆様の安全・安心を守ります。同時に良好な都市景観の創出に寄与していきます。

※ Private Finance Initiative: 公共施設の建設・維持管理・運営などに民間の資金や経営能力や技術的能力を活用する手法